

(高分子特許庁総務部企画調査課長) 中村敦子◇中小企業庁付(九州経済産業局総務企画部長) 岩木権次郎◇中小企業庁長官官房企画官、組合・共済担当(製造産業局生活製品課伝統的工芸品産業室長) 中内重則◇中小企業庁長官官房企画官、資金供給・企業法制担当(中小企業庁長官官房企画官、組合・共済担当) 大塚恒明◇内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室参事官(大臣官房付) 八山幸司◇国土交通省大臣官房総務課企画官(貿易経済協力局通商金融・経済協力課企画官) 庄司郁◇国土交通省国土政策局広域地方政策課広域政策企画官(大臣官房システム厚生課厚生企画室長補佐、企画担当) 土屋武大◇国土交通省都市局都市政策課都市政策調査室長(日本貿易保険機構総務・広報グループ長) 横田一磨◇東北大学未来科学技術共同研究センター特任准教授(内閣府政策統括官(原子力担当)付参事

官(総括担当)付参事官補佐) 黒田俊久◇信州大学学術研究院教授、社会科学系(貿易経済協力局貿易管理部安全保障貿易管理政策課国際投資管理室長) 遠藤幹夫◇製品評価技術基盤機構国際評価技術本部長(中国四国産業保安監督部長) 栗原晃雄◇一般社団法人日本規格協会標準化研究センター上席研究員(国土交通省都市局都市政策課都市政策調査室長) 早川卓郎◇公益社団法人福島相双復興推進機構専務理事兼事務局長(内閣府原子力災害対策本部現地対策本部事務局長) 角野然生◇公益社団法人福島相双復興推進機構地域・生活支援グループ長(内閣府原子力被災者生活支援チーム企画官) 演田直春◇公益社団法人福島相双復興推進機構総務調整グループ長(内閣府原子力被災者生活支援チーム企画官) 平林純一◇経済産業政策局産業構造課経済社会政策室長(採用) 小田文子

## 6月の銅マーケットレポート及び7月の見通し(3)

橋本アルミ(株) 橋本健一郎



※7月12日付け本誌の銅マーケットレポートの題字に誤りがありました。正しくは「6月の銅マーケットレポート及び7月の見通し(2)」です。お詫びして訂正いたします。

### 【伸銅品生産】

伸銅品生産は、前年比+6.5%の6万6381t。10カ月連続増加。内訳は、内需が5万5143tで+6.9%、10カ月連続プラス、輸出が1万123tで+5.9%、7カ月連続プラス、銅条が2万1114tで+10.7%、13カ月連続プラス、黄銅棒が1万5604tで+5%、13カ月連続プラスとなっている。

### 【電線】

前年比+3%の5万700t。うち、国内が+3.2%、輸出が-5.4%、通信が+17%、電力が-0.6%、電気機械が-0.8%、自動車+10.3%、建設電販+2%、その他内需が+15.1%。

### 【輸出】

電気銅輸出が-17.4%の3万9677t。銅スクラップは+37%の2万2640t。

### 【輸入】

電気銅が+62.5%の3415t。銅スクラップは-0.4%の11135t。

### 〈見通し〉

▷自動車は生産が+5.5%。国内販売台数が前年比+9.7%、生産が8カ月連続プラス、販売も9カ月連続プラス。生産、販売共に増加しており今後も期待。▷住宅着工の動向については、前年同月比で-0.3%と前月の微増から再び微減になっており、下げ止まり傾向かどうか今後の動向に注目。▷伸銅品は、10カ月連続プラスの前年比+6.5%。需要の多い銅条が、13カ月連続プラス。黄銅棒も13カ月連続プラス。輸出7カ月連続プラス。今後も期待。▷電線では、前年比+3%の5万700t。輸出が-5.4%と大幅減。需要の多い自動車、建設電販がそれぞれ+10.3%、+2%。全体として回復傾向。▷銅輸出は、内需用途から地金は減少。スクラップはメーカーの買い控え傾向から増加。▷銅輸入は、地金は4月の円高時の地金の入港から増加。スクラップは変わらず

### 【スクラップ需給予想】

流通在庫は、生産が好調なこと、7月の銅建値が2万アップの71万スタートだったことから出てくるのではないかと

需要面に関しては、住宅で底入れ、自動車の生産販売は好調であるが、LME在庫の急増、やメーカーが地金を優先に使用していることから需給は緩むのではないかと

### 【価格・為替予想】

今月は中国秋の指導部交代に向けての経済対策、オバマケア代替法案審議を含む米議会の捻れの動向に左右される。

秋の中国指導部交代に関しては、金融引き締め緩和や新たな送電線計画が発表されるなど経済の安定をねらった政策が今後も発表されるのではないかと

米議会に関しては、経済界には当たりがよいものの肝心の白人中間層のトランプ政策離れが進んでおり一層ねじれが進むのではないかと

これらを踏まえた7月の銅価格は、指導部交代に向けた景気対策が新たに発表され、オバマケア代替法案が議会通过した場合、6月一段高値の6000ドルを予測。いずれの場合も5800ドル。下値はいずれの条件も達成できなかった場合5月一段安値の5500ドル。

為替は、NYダウの高値更新と英国のユーロ離脱関連に左右される。

NYダウは好調な米経済を受けて今月はさらに高値更新するのではないかと

英国の離脱関連はそろそろ現実味を帯びた発表がなされておりユーロ安ドル高がすすむのでは?

それらを踏まえ予測は、NYダウが最高値を更新し英国のユーロ離脱関連でマイナス材料がなかった場合、高値は6月後半高値一段高の110円台(TTM)を予測。いずれも行われなかった場合は同安値の114円台を予測。

銅建値に関しては、650-730円程度と予測している。